



あらためての当院の紹介になりますが、当院は

「一般病床」と「療養病床」の 「ケアミックス型の病院」です

住み慣れた自宅で1日でも長く生活してもらいたい、
ただ自宅での継続が困難になってきた時には、困られないように
当院の特徴を生かし地域の受け入れ先となれるようにも取り組んでおります。

「もう少し…」「あともう少し…」「何とか…」

当院では療養目的の入院はもちろん、
ちょっと困ったときの短期・中期の入院についても相談可能です。

(ショート) レスパイト

介護施設でショートステイを利用したかったが病状や医療行為等で受け入れが困難…



ショートステイ先が見つからない

「人工呼吸器・NIPPV・CPAP/BIPAP etc」

- ・呼吸器を装着している&各種医療機器の管理等が必要な利用者様
- ・医療行為、処置が必要な利用者様



難病の方のお受入れも前向きに検討させていただいております

入院期間中も3職種（PT・OT・ST）、リハビリ対応可能です。



褥瘡 なかなか治癒しない、病状が進行し悪化傾向にある

急性期病院では入院の対象とならず、自宅での介護も負担が増加

→ 当院で内科医による全身状態・栄養の管理と皮膚科の専門医による
フォローも可能です。



最近、認知面・老衰等により、食事が食べられていない（経口摂取量が不安定）

利用者さんの咀嚼、嚥下能力に不安

提供されている食事形態で食事介助を

続けていても大丈夫??

当院のSTの派遣：応相談可能

当院ではVF検査（短期入院10日～2週間）で

嚥下能力の評価、食事介助の方法、食事形態の見直し

も含めた入院相談も可能です。

退院後もご希望、ご要望があれば訪問させていただくことも出来ます。



レスパイト（短期）入院以外のご相談も承っております！

裏面へ

(ミドル) レスパイト



家族背景

主たる介護者が入院となり退院のメドもわからず
自宅での生活継続が困難な状況となり受け入れ先を探している。



施設入所・入居待ち

自宅での生活継続が困難で施設入所・入居の方針となったが、
希望している施設に空きがない、直ぐに施設に入るのは不安等、
入院にて経過観察、入所・入居待ちをしたい。



病状的な不安

- ・急性期病院を緊急受診したが、入院とはならず、自宅に帰ってきたものの経過を見ていくには不安
- ・急性期病院に入院し検査・治療を終え、退院の話が出てきたが、直ぐに自宅へ戻るには不安・・・。
- ・入退院を繰り返してきており、状態が不安定。

「一時的にでも入院で経過観察してもらいたい。」

※当院退院後、本人の状態に応じ、退院後訪問のサポート体制が有ります。



リハビリのご要望

- ・急性期病院から退院の話が出ているが、もう少しリハビリを継続してもらいたい



嚥下能力低下等による誤嚥リスクに対する不安

- ・食事が減少、嚥下に対する不安もあり、様子を見てもらいたい

→ 経験豊富なSTが在籍しており、嚥下造影検査による食事形態の見直し、
嚥下評価等の相談対応も可能です。

※応相談となりますが、先ず当院のSTを派遣させていただき、

ご様子を見させていただく事も検討可能です。



口腔ケア

当院では歯科・歯科口腔外科があり歯科衛生士による口腔ケアも
ご希望に応じ介入させていただきます。

お気軽にお問合せください。よろしく願いいたします。

天仁病院 地域医療連携室

病院代表 TEL 072-939-8561

医療相談員/入退院調整看護師

地域直通 FAX 072-939-8566